

（別表 3）病児・病後児保育研修

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
病児病後児保育の概要	講義	30分	①地域子ども・子育て支援事業としての病児保育事業 ②地域連携による子育て支援の必要性	地域子ども・子育て支援事業における病児保育の意義や特徴について理解する。
病児・病後児の発達・心理を理解したうえでの遊び	講義	60分	①子どもの発達と発達段階を踏まえた接し方 ②病気の子どもの理解 ③病気の子どもへ安心会を与える保育・看護 ④病気の子どもの安静を保ちながらできる遊び	①子どもの発達や発達に合わせた遊びを理解する。 ②病気の子どもの心理状態を理解する。 ③病気の子どもが安心できる環境について理解する。 ④病気の子どもが安静状態を保てる遊びについて理解する。
病児・病後児保育を利用する子どもの主な症状と対応	講義	60分	主な症状とケア（発熱、咳、下痢、嘔吐）	病児・病後児保育を利用する子どもの主な症状を知り、その対応状について理解する。
薬に関する知識	講義	30分	①乳幼児の薬 ②薬の与え方	薬に関する知識、与え方について理解する。
リスクマネジメント	講義	90分	①アレルギー ②アナフィラキシー、 ③熱性けいれん ④乳幼児突然死症候群（SIDS） ⑤環境整備と緊急事態	①アレルギー疾患について理解する。 ②アナフィラキシーについて学びその対応について理解する。 ③熱性けいれんについて学び

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
			生	その対応について理解する。 ④乳幼児突然死症候群（SIDS）について学びその対応について理解する。 ⑤保育現場での子どもの事故予防のポイントについて理解する。 ⑥症状別に緊急時における対応を学び、緊急時に備えた日常からの準備について理解する。
	講義	90分	⑥子どもの一次救命措置法	乳幼児を対象とした救急救命が行えるように、緊急時の対応について理解する。
病児・病後児保育における感染症対策	講義	90分	①感染経路を理解したうえでの対策 ②病児・病後児保育における感染対策の実践ポイント ③注意が必要な主な感染症と対策 ④予防接種	感染症と感染経路を学びその対応と対策について理解する。
子どもが病気の際の保護者支援	講義	30分	子どもが病気の際の保護者支援	子どもが病気になった際の看護方法等について、保護者が適切なケアが行えるよう、その支援方法について学ぶ。

時間合計：8時間

(別表4) 病児・病後児保育(訪問型) 研修

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
病児病後児保育 の概要	講義	30分	①地域子ども・子育て 支援事業としての病児 保育事業 ②地域連携による子育 て支援の必要性	地域子ども・子育て支援事業 における病児保育の意義や特 徴について理解する。
乳幼児の生活と 遊び	講義	60分	①子どもの発達と生活 ②子どもの遊びと環境 ③人との関係と保育の ねらい・内容 ④子どもの一日の生活 の流れと役割	①発達・成長過程に応じた子ど もの生活への1対1の関わり 方や援助方法について理解す る。 ②1対1で行う子どもの遊び について理解する。 ③生活の中で様々な人との関 わりあいが、子どもの発達を促 すことについて理解する。 ④子どもの一日の生活の流れ の中で、病児・病後児保育 訪問型の保育者 の 役割について理解する。
病児・病後児の発 達・心理を理解し たうえでの遊び	講義	60分	①子どもの発達と発達 段階を踏まえた接し方 ②病気の子どもの理解 ③病気の子どもへ安心 会を与える保育・看護 ④病気の子どもの安静 を保ちながらできる遊 び	①子どもの発達や発達に合わ せた遊びを理解する。 ②病気の子どもの心理状態を 理解する。 ③病気の子どもが安心できる 環境について理解する。 ④病気の子どもが安静状態を 保てる遊びについて理解する。
乳幼児の発達と 心理	講義	90分	①発達とは ②発達時期の区分と特 徴 ③ことばとコミュニケ ーション ④自分と他者 ⑤手のはたらきと探索 ⑥移動する力(移動運	①0歳から3歳くらいまでの 乳幼児期の発達のポイントを 学び、発達に応じた遊びやその 安全性について理解する。 ②子どもの発達を支える 病児・病後児保育訪問型保育者 の役割について理解する。

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
			動) ⑦こころと行動の発達を支える保育者の役割	
乳幼児の食事と栄養	講義	60分	①離乳の進め方に関する最近の動向 ②栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ③食物アレルギー ④保育者が押さえる食育のポイント	①離乳の進め方に関する最近の動向について理解する。 ②幼児期昼食作りに役立つ栄養バランスのポイント、職位品衛生の基礎知識について理解する。 ③食物アレルギーについて理解する。 ④保育者が押さえる食育のポイントについて理解する。
病児・病後児保育を利用する子どもの主な症状と対応	講義	120分	①主な症状とケア（発熱、咳、下痢、嘔吐） ②乳幼児の健康観察のポイント ③発育と発達について（母子健康手帳、予防接種について） ④衛生管理・消毒について	①病児・病後児保育を利用する子どもの主な症状を知り、その対応状について理解する ②保育を行う上で必要となる健康管理のポイントや疾病の予防と感染防止への対応、保育中の発症への対応などの基礎知識について理解する。 ③現場に生かせる、より具体的な対応を理解する。 ④健診や母子健康手帳の意義、記載内容について理解する。 ⑤予防接種について理解する。
薬に関する知識	講義	30分	①乳幼児の薬 ②薬の与え方 ③薬の預かりについて	薬に関する知識、与え方について理解する。
リスクマネジメント	講義	90分	①アレルギー ②アナフィラキシー、 ③熱性けいれん ④乳幼児突然死症候群	①アレルギー疾患について理解する ②アナフィラキシーについて学びその対応について理解する

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
			(SIDS) ⑤環境整備と緊急事態 生	る ③熱性けいれんについて学び その対応について理解する ④乳幼児突然死症候群（SIDS） について学びその対応につい て理解する。 ⑤保育現場での子どもの事故 予防のポイントについて理解 する。 ⑥症状別に緊急時における対 応を学び、緊急時に備えた日常 からの準備について理解する。
	講義	90分	⑥子どもの一次救命措 置法	乳幼児を対象とした救急救命 が行えるように、緊急時の対応 について理解する。
心肺蘇生法	実技	120分	①心肺蘇生法、AED、 異物除去法等 ※見学だけの科目にな らないよう参加人数等 の配慮が必要。	乳幼児を対象とした救急救命 が行えるように、その技術を身 につける。
病児・病後児保 育における感 染症対策	講義	90分	①感染経路を理解した うえでの対策 ②病児・病後児保育に おける感染対策の実践 ポイント ③注意が必要な主な 感染症と対策 ④予防接種	感染症と感染経路を学びその 対応と対策について理解する。
子どもが病気 の時の保護者 支援	講義	90分	①子どもが病気の時の 保護者支援 ②病児・病後児保育訪問 型における保護者支援 の必要性 ③さまざまな家庭にお ける家族との関わり方 ④病児・病後児保育訪	①子どもが病気になった際の 看護方法等について、保護者が 適切なケアが行えるよう、その 支援方法について学ぶ。 ②保護者が協力して子どもの 発達を支えとともに、保護者 の子育てを支援する役割につ いての意義を学び、このために

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
			問型における子育てアドバイス	必要な知識と技術について理解する。 ③家族との関わりにおける配慮等について理解する。 ④保護者への対応において、保護者との信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解する。
病児・病後児保育訪問型の保育内容	講義 ・ 演習	120分	①病児・病後児保育訪問型を利用する家庭（子ども・保護者）のニーズ ②病児・病後児保育訪問型の特徴 ③病児・病後児保育訪問型における配慮事項 ④病児・病後児保育訪問型の実際	①病児・病後児保育訪問型を利用する家庭のニーズについて理解する。 ②病児・病後児保育訪問型の特徴と配慮事項を学び、演習を通じて考え、理解する。
病児・病後児保育訪問型における環境整備	講義	60分	①保育環境を整える前に ②病児・病後児保育訪問型に必要な環境とは ③環境のチェックポイント	①保育環境の準備に当たり、基本的な考え方と配慮事項について理解する。 ②児童の居宅であることを踏まえた環境整備の必要性について理解する。 ③保育に必要な設備、備品を確認し、自己点検を行えるようにする。
病児・病後児保育訪問型の運営	講義	60分	①病児・病後児保育訪問型の業務の流れ ②保育注意事項 ③病児・病後児保育訪問型保育者のマナー	①病児・病後児保育訪問型保育者の職務について理解する。 ②児童の居宅で保育を行う、病児・病後児保育訪問型保育者の姿勢について理解する。
病児・病後児保育訪問型保育者の	講義 ・	90分	①職業倫理 ②自己管理	①病児・病後児保育訪問型保育者としての基本姿勢（保育マイ

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
職業倫理と配慮事項	演習		③地域との関係 ④保育所や様々な保育者との関係 ⑤行政との関係	①プライバシーの保護と守秘義務（個人情報の保護）、自己研鑽について理解する。 ②病児・病後児保育訪問型保育者の自己管理について理解する。 ③地域住民との関係作りについて理解する。 ④保育所や様々な保育関係者との関係作り、行政との関係などについて理解する。
子ども虐待	講義	60分	①子ども虐待への関心の高まり ②子ども虐待とは ③子ども虐待の実態 ④虐待が及ぼす影響 ⑤子ども虐待の発見と通告 ⑥虐待を受けた子どもに見られる行動特徴 ⑦子どもが家で虐待を受けたと思われたならば ⑧不適切な関わりを防ぐために	①子ども虐待に関する基本的事項について理解する。 ②保育における虐待の発見、対応の基礎について理解する。 ③病児・病後児保育訪問型保育者が虐待など不適切な関わり方をしないための配慮すべき事柄について理解する。
特別に配慮を要する子どもへの対応（0～2歳児）	講義	90分	①気になる行動 ②気になる行動をする子どもの行動特徴 ③気になる行動への対応の考え方 ④気になる行動の原因とその対応 ⑤病児・病後児保育訪問型保育者の役割 ⑥遊びを通して、子ども	①0～2歳の気になる行動をどのように考え、どう関わっていけばよいかを行動特徴の把握などを通して理解する。 ②特別に配慮を要する子どもへの対応における病児・病後児保育訪問型保育者の役割について理解する。 ※ 発達の遅れが疑われる場合、保護者の思いを踏まえた上

科目名	区分	時間数	内 容	目 的
			の発達を促す方法	での対応の必要性について理解する。（専門機関との連携を含む。） ③遊びを通して、子どもの発達を促す方法について理解する。
実践演習	演習	1 ～ 2 日	①病児・病後児保育訪問型の実際（DVD等の教材の視聴） ②実践を想定した演習 ③グループ討議（90 分を含める）	病児・病後児保育訪問型の具体的な内容をイメージすることができるようになる。
実施自治体の制度について（任意）	講義	6 0 分	①関係機関 ②地域資源	実施自治体の保育関係施策や関係機関について理解する。

時間数合計：24.5時間＋1～2日以上